

## 4月の自殺者数が前年同月比19%増、女性は37%増に

5月14日に警視庁が発表した今年4月の全国の自殺者数（速報値）は1799人で、前年同月比で19%増えた。昨年7月以来、10カ月連続の増加で、コロナ禍で長引く雇用情勢の悪化などが要因として指摘されている。男性は

同12%増の1192人、女性は同37%増の607人で、特に女性が深刻になっている。女性は非正規雇用の割合も高く、家事などの負担も重い。ジェンダー平等の社会実現にむけた施策が急務だ。

# 福祉のなごま

2021年  
6月号  
第354号  
全国福祉保育労働組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8サニープレイスビル5FA  
TEL 03-5687-2901 (代) FAX 03-5687-2903  
メール・アドレス mail@fukuho.org  
URL http://www.fukuho.info/  
ツイッター @fukuho\_info  
発行責任者/土田昭一  
2021年6月5日発行

トピックス  
福祉

## コロナ禍での21春闘

# 「続ける」「つながる」「たたかう」 3つの力で 変化が生まれた!

まんがタイム



### 東海地本・めいほく障害部分会

「人を支える福祉労働を守れ」怒りの全国アクションで、東海地本のなごまと金山駅宣伝(2021・3・11)



「コロナ禍での2回目の春闘。厳しい情勢ではありますが、福祉労働者が求められる役割を發揮するためにも、労働条件の改善がいつまでも重要になっています。『続ける』『つながる』『たたかう』を大切にして春闘にとり組み、コロナ対応での危険手当や非正規格差の是正を勝ちとった東海地本・めいほく障害部分会のたたかいを報告します。

### 非正規格差の是正に 力を入れた21春闘

めいほく障害部分会は、同じ法人の身体、知的障害児・者の生活介護、共同生活、発達支援など11事業所の職員を対象に活動しています。21春闘では、コロナ感染者や濃厚接触者を支援した時の危険手当(夜勤1勤務5000円、日中1勤務3000円)の支給を実現しました。職員が感染あるいは濃厚接触者となり休業する場合は

10割の賃金補償を求めましたが、業務以外での感染は6割支給とされませんでした。コロナ感染から労働者のいのちと暮らしを守るため、さらに実現をめざします。正規のみ対象だった住宅手当(家主5000円、その他3000円)と被服手当(10000円)を非正規にも拡大しました。一方で、住宅手当は5年後に、被服手当

は対象拡大と同時に5000円に減額する条件が提示されました。協議を重ねて住宅手当の減額は凍結させましたが、被服手当は減額となりました。「正規の処遇を引き下げることは納得できないが、まずは格差是正を優先した。減額は今後取り戻す」と前向きに総括しました。他にも勤続表彰の祝い金と弔慰金も是正させました。

### 大切にしてきたのは 「続ける」「つながる」「たたかう」

現在は積極的に春闘にとりかかっていますが、数年前は分会会議に誰も来ない時期がありました。それでも定期的に分会会議を開催して、少しずつ参加者を増やしてきました。「続ける」とは、それ自体にとっても大きな意味がある」と分会のなごまは振り返ります。つながりを強めたのは要求の共有です。まずは、昼休みが取れない職場環境を変えるところから始め

### 統一要求の たたかいかいにも変化が

この数年間、欠かさず統一要求を提出し、団交で内容を伝えてきました。今春闘で統一要求を分会会議で共有した時に、「私たちの職場要求とつながる部分が多くある」「統一要求が実現しているような職場で働きたい」と話題になりました。職場要求の議論を深

めました。統一要求への共感が生まれます。こだわりの持つて団交に臨むことができます。めいほく障害部分会は、今年初めて法人から統一要求の回答を得ました。これも「続けること」「つながること」「たたかうこと」の成果です。

「2030年には週15時間労働になるだろう。21世紀最大の課題は、増えすぎた余暇をどうやり過ごすか」と、経済学者のケインズは1930年に予測しました。30年が近づいています。が、実際には過労死がはびこるような社会になってしまいました。今年1月のEテレ「100分de名著マルクス『資本論』」では、生産力が上がっても労働者の余暇は増えず、「生産力が上がれば上がるほど労働者は楽になるどころか、自律性を失い資本の奴隷になる」として、連携した人々の共同による「脱成長型経済」をめざすべからなければならないという、同書の主張が紹介されました。4月の中央本部オンライン学習企画「コロナ禍でたいへんなのに、なぜ労働組合の活動をすすめるのか?」で、「ゆとりは、労働条件からしか生まれない。労働条件に無関心であることは、自らのゆとりの拡大を放棄すること」と、私たちは学びました。失われたゆとりを取り戻す学びと行動をすすめてよ。(東條)

福祉の風

名古屋市障害福祉担当課への要請にも参加(2021・3・11)

## 主 張

# 福祉のなかま 今月の

ジェンダー平等とは、固定的な性別役割分担や、つけられた「男らしさ・女らしさ」にとらわれず、文化的・政治的に形成された性差のこと。ジェンダー平等とは、自由な行動・生活をもつこと。

## ジェンダー平等社会の実現へ 福祉職場と生活を見つめ直し、政治を変えよう

「ジェンダー平等」として、自由な行動・生活をもつこと。ジェンダー平等とは、固定的な性別役割分担や、つけられた「男らしさ・女らしさ」にとらわれず、文化的・政治的に形成された性差のこと。ジェンダー平等とは、自由な行動・生活をもつこと。

「ジェンダー平等とは、固定的な性別役割分担や、つけられた「男らしさ・女らしさ」にとらわれず、文化的・政治的に形成された性差のこと。ジェンダー平等とは、自由な行動・生活をもつこと。」

ジェンダー平等とは、固定的な性別役割分担や、つけられた「男らしさ・女らしさ」にとらわれず、文化的・政治的に形成された性差のこと。ジェンダー平等とは、自由な行動・生活をもつこと。

「ジェンダー平等とは、固定的な性別役割分担や、つけられた「男らしさ・女らしさ」にとらわれず、文化的・政治的に形成された性差のこと。ジェンダー平等とは、自由な行動・生活をもつこと。」

「ジェンダー平等とは、固定的な性別役割分担や、つけられた「男らしさ・女らしさ」にとらわれず、文化的・政治的に形成された性差のこと。ジェンダー平等とは、自由な行動・生活をもつこと。」

「ジェンダー平等とは、固定的な性別役割分担や、つけられた「男らしさ・女らしさ」にとらわれず、文化的・政治的に形成された性差のこと。ジェンダー平等とは、自由な行動・生活をもつこと。」

「ジェンダー平等とは、固定的な性別役割分担や、つけられた「男らしさ・女らしさ」にとらわれず、文化的・政治的に形成された性差のこと。ジェンダー平等とは、自由な行動・生活をもつこと。」

「ジェンダー平等とは、固定的な性別役割分担や、つけられた「男らしさ・女らしさ」にとらわれず、文化的・政治的に形成された性差のこと。ジェンダー平等とは、自由な行動・生活をもつこと。」

「ジェンダー平等とは、固定的な性別役割分担や、つけられた「男らしさ・女らしさ」にとらわれず、文化的・政治的に形成された性差のこと。ジェンダー平等とは、自由な行動・生活をもつこと。」

# コロナ禍 だからこそ

「#人を支える福祉労働を守れ #メーデー2021」

# 要求 掲げて

# 大幅賃上げ 大幅増員

# 実現へアピール!

「#人を支える福祉労働を守れ #メーデー2021」

第92回メーデーは、新型コロナウイルスの感染拡大がすすみ、3度目の緊急事態宣言が発令されたなかで迎えました。それでも感染防止対策と工夫を重ね、全国では16以上の地方での屋外集会やスタンディング宣伝のほか、オンライン企画などがおこなわれました。

## 2021 メーデー

中央メーデー



舞台中央でメーデー宣言を読み上げる東京地本・佐々木和子書記長

コロナ禍で問題が浮き彫りにみんなで政治を変えていこう

中央メーデーは、東京・代々木公園野外ステージからのオンライン配信となりました。全労連の小畑雅子議長は主催者あいさつで、医療・公衆衛生の逼迫や医療費2倍化法案などによって、いのち守れ」の共同を広げる必要性、雇用が悪化する中で十分な休業補償を求め運動の強化、賃上げを求めるとのくみやジェンダー平等の社会の実現などを強調しました。

愛知

屋外で久しぶりに集まって要求を共有して実現へ発信



久しぶりに集まった仲間と距離を取りつつ記念撮影

愛知県中央メーデーは、屋外で開催できず取って、東海地本からは12分会30人が参加。コロナ禍で会議がかなりモットとなるなか、直接顔をみるのは1年以上ぶりという仲間も多かった。中央本部よかけのツイッターでも参加するの「金UP」などの要求を書いて写真撮影。将来が不安!賃金上げ!」(保育、コロナニモマケ人を支えるぞ!)な福ケ人盛り上がりました。

北海道

動画配信でアピール! ツイッターでは反響も大きく



「賃金UP」と切実な要求アピールした兵庫地本・いかり共同作業所分会のみなさん



「貯金が増えたい」と賃上げを求めるツイートは表示回数33万超の大反響!

講義と演習で確信に! 「何かと話題の ツイッター まるわかり実践講座」

4月21日 オンライン

- 1 ツイットの読み手は誰かを明確にする →労働組合組織率17.1%→82.9%が労組を知らない
- 2 その読み手が持っている情報・知識は何かを想定する →そもそも労働組合の役割を知らない、主張も知らない
- 3 その読み手の関心、知りたいことを想定してツイートする →読み手の共感を得る、読み手に刺さるツイート ※情報収集が必須 ex.トレンド、Googleアラート等

「何かと話題の ツイッター まるわかり実践講座」

4月21日、福祉保育労は「何かと話題のツイッター まるわかり実践講座」を開催し、地方組織と中央本部の役員14人が参加しました。国公労連教直部長の井上伸さん (@inoueshin0) を講師に迎え、ツイッターを活用する必要性と書き方の解説、実際のツイート演習で構成し、3時間の企画をおこないました。

政府の統計調査でも、若い世代に限らず、50・60代でもSNSの活用がすすんでいること、世の中の動きについて10～40代ではテレビよりもネットで情報をつかんでいることなどがデータで解説されました。ツイッターの特徴や拡散が広がった事例の紹介などのあと、参加者一人ひとりが発信したツイートに、講師からアドバイスを受けました。参加者からは「SNSの活用が求められている」と思っていたが、具体的な根拠を踏まえて必要性を学んで確信になった」「伝える相手をイメージすることが大切」などの感想が寄せられました。活用を広げていきましょう。

5・3憲法大行動 平和といのちと人権を! とりもどそう! 民主主義、立憲主義

5月3日 国会議事堂前からオンライン配信



TBS「サンデーモーニング」でおなじみの田中優子さんが自身のスピーチ

開会あいさつで「九条の会」事務局長の小森陽一さんは、コロナ禍での菅政権の政策を批判したうえで、「国に福祉推進の責任を示した憲法25条、男女平等を規定した24条を政治の現場で実現しろと主張しなければならない」と訴えました。作家の雨宮処凛さんは、「コロナ禍で困窮者支援の現場が野戦病院のようになっている。政治が根本的に関わっていない。生活保護パッシングによる申請抑制が今も人の命を奪っている」と発言しました。

政党からは立憲民主党の枝野幸男代表、日本共産党の志位和夫委員長、社会民主党の福島瑞穂党首が集会に参加し、憲法を活かしていく姿勢をアピールしました。江戸文化研究者の田中優子さん(法政大前総長)は、日本国憲法と自民党憲法改正草案を比べてみようとうまみかけ、「価値観、人間観、国家観が全く異なり、別の国になる。今の憲法を棄てるか守るかを選択肢しかない」と語りました。

## 福祉保育労 ニュースフラッシュ

学習企画「コロナ禍でたいへんなのに、なぜ労働組合の活動をすすめるの?」

4月23日 オンライン

4月23日、福祉保育労はオンライン学習企画「コロナ禍でたいへんなのに、なぜ労働組合の活動をすすめるの?」を開催しました。講師の長久啓太さん(岡山県労働者学習協会事務局長)と組織部員によるZoomミーティングをYoutubeで配信(限定公開)し、120人が視聴しました。

長久さんは、生活や人生を操縦できている実感・手応えとして「ゆとり」は欠かせず、労働条件が生活の質に運動していて、ゆとりのあるなしにつながると指摘。労働条件と生活の質にこだわるために、団体交渉で改善を迫ることができる組合の力を示しました。

賃金や労働時間、休暇、休憩などの労働条件について、労働組合の力で自由を拡大することが必要だとしました。「憲法が労働三権(団結権、団体交渉権、団体行動権)で労働者に肩入れして、尊厳を守る手段を保障している」と説明しました。

「辞める」か「我慢する」の2つの選択肢以外の、労働組合という選択肢を提示しようとうまみかけ。「学びがなければ、人権侵害にさらされても立ち向かえない」として、組合員教育の重要性を示しました。組合活動が「育ちあう」「ほっとする」「ワクワクする時

「権利侵害が『常態化』された場所は、それが強固な常識や文化になっている場合が多い」と指摘

間になる」ように、人間的な交流などの工夫を強調しました。対話や会議の進め方、誘い方、団交の仕方などの「パワーをつくりだす活動」の訓練機会がほとんどなく、みんなが初心者として学習とトレーニングの機会を意識的につくる重要性を語りました。わかりやすい活動指図書として、『コミュニティ・オーガナイズング』(鎌田華乃子、英治出版)を紹介し、学んで実践をとおまじかけました。

最後に、コロナ禍で集まりづらいなかでは、電話やLINE、オンライン、ニュース、アンケート、動画、SNSなどの手段をつかいつながりながら、「いざという時は集まろう」と強調。当事者の発信(声)、運動の「見える化」が変化を起こす原動力になるとし、「コロナ禍だからこそ、要求にこだわり、声を集めて行動しよう」と、しめくくりました。質疑応答も好評でした。

とりのくみのお知らせ

6月

- 13日(日) 全国委員長・書記長会議(オンライン)
- 19日(土) 福祉職場で働く青年のオンライントーク交流会 午前9時半～
- 27日(日) 第30回全国保育種別協議会学習交流集会(オンライン)

「福祉のなかま」 次号の発行について

◆次号は例年どおり、7・8月号(7月5日発行予定)となり、8月の発行はありませんのでご了承ください。

全国の仲間とオンラインでつながろう



教えて「福志良先生」153

政治に不安や不満を感じるのなら...の巻





児玉 由美さん

福岡地本 筑紫保育園分会 書記長



Myメッセージ

最後まで諦めず、みんなで勝ち取った懲戒解雇取消と原職復帰!!

思い返せば、約1年前、突然の解雇通知。コロナ禍の中、何度も分会で集まって、情報を共有しながら活動内容をお話...

紙面を読んで

厚労省の保育政策の方向は間違いだ!

北海道地本・ゆりかご分会 石川 典崇さん
4月号の「福祉トピックス」の「厚労省は常勤保育士がなぜ確保・定着できないかに向きあえ!」に全面的に共感しています。

3月11日、私もつけたワッペンシール 全国のなかまも

東海地本・田代保育園分会 山下 世奈さん
4月号の3月11日の特集記事を読みました。私も当日ワッペンシールをつけて就労したのですが、全国でたくさんのなかまが同じように行動していたと知り、心強く感じました。



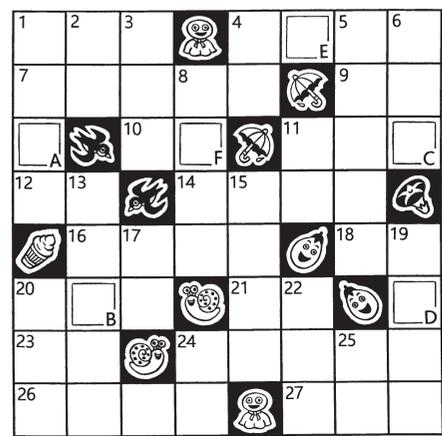
ツイッターでの切実な訴えが 大きく広がった

大阪地本・さつき福祉会分会 肥後 慎一さん
4月号で、3月11日の統一行動日に「一人暮らしができる給料を」とアピールしたツイートが表示回数97万超の大反響があったという報告がされていました。

感染拡大で活動が難しくても励みに

大阪地本・大阪福祉事業財団分会 原田 雄一さん
みんなで集まったの活動がなかなかできないなかでも、「福祉のなかま」を読むと、できることを前向きにしているみなさんの様子を知ることができて、励みになります。

「趣味」毎日のウォーキング&ジョギングは気分転換に最高!



答え A B C D E F

- 1 動くこと。...のやりが
2 竹の若い芽。...ごぼん
3 娘さんよ。聞けよ。...
4 ...を天に任せる
5 ...の家のこと。...家
6 ...太鼓と笛。...隊
7 ...保つこと。現状。...
8 ...緑茶や紅茶の渋み、苦みの成分
9 ...江戸で生まれ育った人の

- 1 スケッチ。...画
2 人にへつらうこと。...すり
3 さつと降ってすぐやむ...雨
4 正月の遊びの一種、...あけ
5 悩みなどなく何も考えていないノンキな人...ねばり強く続ける気力
6 ...豚肉料理の一つ
7 ...70歳の祝い
8 ...天然痘の種痘法発見者
9 ...停滞している状況の改善
10 ...外から援助すること
11 ...大昔の土製の焼き物、縄

クロスワードパズル

- 18 桃太郎のおともは犬、...猿。...
19 健康なようす。...が出
20 サト。...ジャガ
21 海岸や砂漠にある
22 収集家。切手。...
23 焼いた食パンのこと
24 民謡の一種。相撲。...

応募方法
答えと「福祉のなかま」の気になった記事の感想、近況などを必ず添えて、ハガキかFAX、メールで送付ください...



あったか 共済 コーナー

7月1日から新しい共済期間が始まります!

継続手続きのご案内を発送しました! どちらも6月15日締切

「個人共済(ワンコイン・医療・生命・交通災害)」加入のみなさまへ
送付内容に変更がある場合(住所・氏名・所属・加入口数の変更等)は、変更箇所を二重線を引いて、変更内容を赤字で記入して返送してください。

組合加入と共済加入をセットでよびかけよう!
新しい職員を迎えて、組合のお誘いをする時期ですね。組合の加入を訴えるときには、必ず「福祉保育労共済」もセットで!ぜひ、組合と共済の「入ってよかった」エピソードを熱く語りましょう!

リスクに備えてみんなで「ワンコイン共済」に入ろう!
福祉職場って、「3密」を避けられず感染症にかかりやすい環境です。身体への負担も大きく、命を預かる責任で常に緊張状態が続きます。どんなに健康でも心身が不調になる危険性があります。そんなリスクに備えて、福祉保育労の組合員の特権「ワンコイン共済」に加入しましょう!

分会共済担当者のみなさまへ
分会慶弔共済は
①分会慶弔共済申込書と登録者名簿の提出(郵送)
②掛金の送金
必ず期日までに2つの手続きを済ませてください。遅れると給付に影響が出ることもありますので、ご注意ください。

入って良かった!! 福祉保育労共済
仕事上のケガにも、心温まる給付
仕事に外で転んで手の甲を骨折し、3日間の入院と手術をすることになりました。ワンコイン共済と医療共済に入っていたことで、給付されました。気落ちする状況でしたが、少しでも給付があり、心温まる感じがしました。(福岡地本・ゆきさん)